

観 光

本村の観光資源は、雄大な赤城高原の広大な農地と自然環境、それらを望む景観、そして、大自然がもたらした産物のりんご・いちご・さくらんぼ・ブルーベリー狩りなどの観光農園や、雄大な上毛の山々を眺めながらプレーできる「昭和の森ゴルフ場」のほか、赤城高原の別荘地、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」、日帰り温泉施設「昭和の湯」などがあり、総合運動公園や千年の森スポーツセンター（サッカー場）では、スポーツを通じて多くの人々が交流し健康増進を図っています。

また、村の観光拠点である「道の駅 あぐりーむ昭和」は、新鮮な農産物を豊富に取りそろえた農産物直売所「旬菜館」をはじめ、昭和村の食材を使用したレストランや物産館、足湯、観光案内所、トイレなどを完備した施設となっており、連日、多くのお客様で賑わっています。

昭和村を訪れた令和5年度の観光客数は増加傾向で、道の駅あぐりーむ昭和に約658,200人、昭和の森ゴルフ場に約9,100人、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」には約10,600人、昭和の湯に約82,700人、総合運動公園に約13,000人、千年の森に約17,300人の来場があり、合計では約790,900人の人々が訪れています。

また、望郷ライン等の幹線道路沿いや結婚の森地内の4か所に、誰にでも使いやすい安全で快適な観光トイレを整備し、併せて観光案内看板も設置しました。平成26年度からは望郷ライン及び大規模農道沿いや結婚の森の良好な景観ポイント3カ所にビューポイントを整備し、本村自慢の雄大に広がるパノラマは観光客らの人気スポットとなっております。

平成28年度には「赤城山船ヶ鼻登山道」が整備され、「樽水」「牛石」の2つの初級者～中級者向けのコースが開通し、令和4年度には山頂に村民の幸福と登山者の安全を願う記念碑を建立しました。

村の祭り・イベントでは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた「昭和の秋まつり」が4年振りに開催され、村内外からの多くの来場者に楽しんでもいただきました。また、冬のイベント「ウインターフェスティバル」も花火をあげる会の有志により、「子供達に夢と思い出を」スローガンに盛大に開催されました。

「道の駅 あぐりーむ昭和」でも、特産野菜の収穫期に合わせた「レタスマつり」や「とうもろこしまつり」での収穫体験は家族連れなどの観光客に大変好評であります。また、年明けに開催される「どんどん焼き」も、だるまなどを飾った櫓が豪快に燃え上がる様子は圧巻であり、無病息災を願う大勢の来場者やカメラマンが訪れています。